

第4回さくらおろち湖トライアスロン大会
(島根県雲南市)

報 告

日 時：2019年9月1日(日)

スタート：9時30分

参加者数：381人

距 離：スタンダードディスタンス 51.5 km

結 果：総合4位(ゲスト出場のため順位含まない)

総合タイム 2時間 08分 36秒

スイム 1.5km 20分 57秒 (13) ・ バイク 40km 1時間 07分 07秒 (7) ・ ラン 10km 40分 32秒 (7)

※ () 内はカテゴリー順位

昨年は同日開催出会ったポイントランキング大会の日程と重なり足を運ぶ事が出来なく、改めて今年もゲストでお迎えいただいた大切なトライアスロンです。さくらおろち湖(雲南市)のダム湖畔を利用するスポーツイベント会場でもあり、集客や設備は申し分なく充実している。今や都市型が主流になる中で、大自然の中で開催される清々しく優しい大会である。

ゲストで皆さんとレースし、ゴール後からは最終走者までの制限時間(4時間)いっぱいまでゴール手前走路(写真)でハイタッチしながらお迎えする。これは私のアイデアでやらせて頂き喜んで頂いている。自分のレースが2時間少々…残り2時間弱をこの形で行うのだが、レース後の体には結構な負担は確かにある。だがプロとしてこのような仕事を任せてもらうのは幸せなことで、今回も終わってからの言葉には、「福元哲郎さんのおかげで・・・」とか、開会式でもこの上ないご紹介を頂くなど、大成功は皆様のおかげであるのは承知の上だが嬉しくも、これからの力や想いが増していく。

懸命に、そしてギリギリの体力でゴールを目指してきた選手たちは、私の出迎いで笑顔になってくれる。中には立ち止まり両手で握手を求められたり、「このハイタッチがしたいからここにきている」、またゴールを目指せると言ってくれる方もいてくれる。冥利に尽きるとはこのことだろう。

個人的には実行委員会からは、私のペースで自由に楽しんでくださいと言われており、全力でレースとまではいかない立ち位置ではある。そうは言ってもアスリートであり、せっかくだから今の状態を試したい想いもあったりと、レースにのっとなって遂行した。夏の疲労はあるだろう。少し動きは悪いがランで踏ん張って総合4位まで上がり、結果的にはうまく表彰者を除いた最高位で終えたのも私の持っているところか。

ただ2週間前のさぎしま大会において、ランで圧倒的に抜かれた選手に対しては今回はラスト3キロで並ばれては離し、離しては並ばれとサイドバイサイド…自分の中で今後のためにもここは負けてはいけなさと魂を感じた気がする。苦しい状況であったが駆け引きを楽しみ振り切れた。相手にも互いに負け癖をつけないためにもご愛嬌だ。ゴール後は「今回は負けました・・・」と言ってくる若い選手とがっちり握手で称えあった。

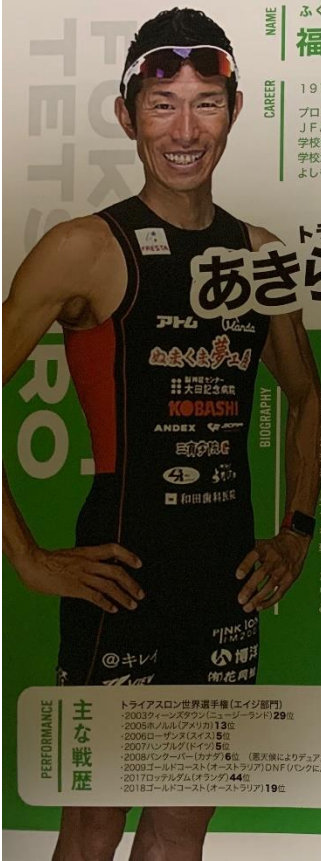
表彰・閉会式後は私を支援していただいているアリスト社のメダリスト製品並びに、ピンクイオンジャパン社のピンクイオン製品をご提供いただき、私とのじゃんけん勝ち抜きゲームでCMさせてもらいながら楽しみフィナーレを迎える事が出来た。

この様な形でプロとしての仕事(志事)をさせて頂き本当にありがたく感謝いたします。

トライアスリート 福元テツロー

ゲストアスリートプロフィール

SAKURA ORIGIN
KOTRATHLON



NAME 福もと てつろう
福元 哲郎

CAREER 1972年6月23日 広島県三原市出身（福山市在住）
プロ マインド・トライアスリート&パブリックスピーカー（講演家）
JFA日本サッカー協会プロジェクト【ユメセン】 夢先生
学校法人 三育学院 教育アドバイザー
学校法人 広島加計学園 英数学館小・中・高等学校スポーツアドバイザー
よしもとクリエイティブ・エージェンシー ふるさとアスリート

トライアスリート福元哲郎の奇跡の言葉
あきらめなければ 夢100%

大学4年時に生まれ故郷（広島県三原市）で開催されている「トライアスロンさきしま大会」へ心惹かれ出場。それを機に自分自身を鍛えるはずだとトライアスリートとして一念発起。夢を生み出すための奥深き人生を歩む。2003年からアマチュアの世界選手権への公式出走が開始され、夢だった日の丸をつけ人生初の世界大会日本代表として初出場。現在も世界一を目指し戦いを続けている。

生き様を体現し、あきらめない力と人間力、元気や勇気、誇りを発し、マインド・トライアスリートのパイオニアとして、多種多様な才能を磨かせている。人は心で奇跡を起こせる・・・自らを鍛えて世界を体現し続けている。本気で生きる心と体を提案する。

2015年8月に20年勤めた三原市役所を退職し、プロトライアスリートとして活動を開始。競技者であり、講演家であり、教育現場でも多角的アプローチで「志事」をする。

覚悟を持って体現する生き方のために生きられる自分を追い求めたい!

PERFORMANCE
主な戦歴

- ・トライアスロン世界選手権（エイジ部門）
- ・2003年オーストラリア（ニュージーランド）29位
- ・2005年メルボルン（アメリカ）13位
- ・2006年サンタモニカ（メキシコ）5位
- ・2007年シドニー（オーストラリア）10位
- ・2008年シドニー（オーストラリア）6位（悪天候によりデュアロン大会変更）
- ・2008年ゴールドコースト（オーストラリア）DNF（リンクによる途中棄権）
- ・2017年ロンドン（イギリス）44位
- ・2018年ゴールドコースト（オーストラリア）19位

- ・アジアチャンピオン2007年-2009年-2017年（エイジ別）
- ・4年連続日本ランキングチャンピオン2005-2008年（一般総合）
- ・日本トライアスロン選手権 1位（2004年）
- ・日本エイジ別選手権大会（長崎県津島）連覇7回
- ・西宮国際トライアスロン組台バイス大会 6連覇
- ・トライアスロンさきしま大会（広島県三原市）連覇8回（中みやま国際）（ワートライアスロン（初代チャンピオン）連覇2回中石竜島トライアスロン大会2006優勝（2位4回）

過去大会結果

SAKURA ORIGIN
KOTRATHLON

第1回 さくらおろち湖トライアスロン大会 結果

平成28年8月4日（日）
スタート-ゴール 31.6km（個人260名・チーム21組56名）

MEN	順位	氏名	都道府県	記録	
個人男子	優勝	安原 務	大阪府	2時間10分26秒	
	準優勝	谷川 延久	広島県	2時間11分49秒	
	第3位	浅井 敦夫	鳥取県	2時間13分35秒	
WOMEN	順位	氏名	都道府県	記録	
	個人女子	優勝	松本 華奈	鳥取県	2時間25分16秒
		準優勝	畔上 多恵子	大阪府	2時間36分22秒
第3位		松田 美香	鳥取県	2時間41分44秒	
RELAY	順位	氏名	都道府県	記録	
	リレー	優勝	松江市消防本部	鳥取県	2時間07分11秒
		準優勝	ボケル世代	鳥取県	2時間24分40秒
第3位		平井組	鳥取県	2時間24分53秒	

第2回 さくらおろち湖トライアスロン大会 結果

平成29年8月3日（日）
スタート-ゴール 27.7km（個人205名・チーム17組47名）

MEN	順位	氏名	都道府県	記録	
個人男子	優勝	安原 務	大阪府	2時間07分36秒	
	準優勝	石 智文	福岡県	2時間08分44秒	
	第3位	田川 淳一	岡山県	2時間10分26秒	
WOMEN	順位	氏名 <td>都道府県</td> <td>記録</td>	都道府県	記録	
	個人女子	優勝	松本 華奈	鳥取県	2時間25分16秒
		準優勝	石原 さくら	山口県	2時間36分22秒
第3位		横田 豊	鳥取県	2時間41分44秒	
RELAY	順位	氏名	都道府県	記録	
	リレー	優勝	Team SHINANO	香川県	2時間12分24秒
		準優勝	GETSLEI トライアスロンクラブ	山口県	2時間16分59秒
第3位		Team トビゴ again	鳥取県	2時間21分35秒	

第3回 さくらおろち湖トライアスロン大会 結果

平成30年8月25日（日）
スタート-ゴール 25.1km（個人251名・チーム17組47名）

MEN	順位	氏名	都道府県	記録	
個人男子	優勝	鎌田 鉄也	愛媛県	2時間10分01秒	
	準優勝	田川 淳一	岡山県	2時間10分46秒	
	第3位	山田 和哉	広島県	2時間14分32秒	
WOMEN	順位	氏名 <td>都道府県</td> <td>記録</td>	都道府県	記録	
	個人女子	優勝	松本 華奈	鳥取県	2時間24分06秒
		準優勝	松田 美香	鳥取県	2時間34分58秒
第3位		石原 さくら	鳥取県	2時間40分13秒	
RELAY	順位	氏名	都道府県	記録	
	リレー	優勝	トラスマーニ	広島県	2時間17分28秒
		準優勝	岡山輪店	鳥取県	2時間18分10秒
第3位		Team NG	山口県	2時間27分06秒	







